



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月14日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL http://www.itrade.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,338	△4.1	△325	—	△323	—	△319	—
2018年9月期第3四半期	1,395	△6.5	△158	—	△158	—	△160	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △319百万円(—%) 2018年9月期第3四半期 △160百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	△44.40	—
2018年9月期第3四半期	△22.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,036	743	71.7
2018年9月期	1,468	1,062	72.4

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 743百万円 2018年9月期 1,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,831	△3.2	△383	—	△382	—	△379	—	△52.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	7,444,800株	2018年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	259,200株	2018年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	7,185,600株	2018年9月期3Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、機能性食材であるハナヒラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2018年9月期 (前第3四半期)		2019年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,395	100.0	1,338	100.0	95.9
金融ソリューション事業	1,017	72.9	922	68.9	90.7
ビジネスソリューション事業	179	12.9	191	14.4	106.8
ヘルスケア事業	195	14.0	223	16.7	114.6
投資教育事業	3	0.2	—	—	—
営業損失(△)	△158	—	△325	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160	—	△319	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第3四半期の業績は、売上面ではビジネスソリューション事業及びヘルスケア事業で増収、主力の金融ソリューション事業は減収となり、連結売上高は前年同期に比べ57百万円減少し1,338百万円となりました。また損益面では、売上高の減少や新規事業への先行投資の影響により営業損失は325百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は319百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社及び株式会社デジタルアセットマーケットの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 922百万円 (前年同期比 90.7%)

セグメント損失 2百万円 (前年同期は226百万円のセグメント利益)

なお、金融ソリューション事業の売上内訳は、次の表のとおりです。

<製品区分別>

	2018年9月期 (前第3四半期)		2019年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	653	64.3	608	65.9	93.0
取引所端末	201	19.8	189	20.6	94.5
外国為替証拠金システム	95	9.3	93	10.1	98.3
取引所関連システム	41	4.1	5	0.6	14.1
その他	25	2.5	24	2.8	96.5
合計	1,017	100.0	922	100.0	90.7

金融ソリューション事業では、来期以降の新ビジネスに向け、これまで培ってきた金融IT技術を活かし、長期的かつ継続的な利益の創出に向けて、「フィンテック」の分野におけるブロックチェーン技術を活用した金融サービスの事業化に取り組んでおります。

今期は研究開発に注力したことにより、既存の主力プロダクトの受注活動を計画通り推進できなかったことやライセンス数の減少による影響が大きく、売上高は前年同期に比べ9.3%減少し922百万円となりました。

損益面においても新規事業における『Spider』の機能拡張と付加価値向上の開発や研究に取り組んでおり、また仮想通貨の不正流出事件以降、より高度なセキュリティや組織体制の強化が求められ、その対策に想定以上のコストがかかったことから、セグメント損失は2百万円となりました。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業の業績は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	191百万円 (前年同期比 106.8%)
セグメント利益	11百万円 (前年同期は1百万円のセグメント損失)

経営戦略等の意思決定におけるデータマネジメントに有効なプロダクト「GroupMAN@IT e²」の新規受注や追加開発、企業のITにおける課題解決や品質向上を実現するサービスであるサポートセンター事業の伸長が貢献し、売上高は前年同期比106.8%の191百万円となりました。セグメント利益も11百万円となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	223百万円 (前年同期比 114.6%)
セグメント損失	116百万円 (前年同期は141百万円のセグメント損失)

医薬品卸大手の株式会社大木の専売品のサプリメント「エストロリッチ」をはじめとする当社が生産するサイレント型エストロゲン活性を有する『ITはなびらたけ』関連の商品やOEM、原料販売が堅調に推移し、当第3四半期の売上高は前年同期比114.6%の223百万円となりました。

損益面においては『ITはなびらたけ』関連製品の販売拡大による売上総利益の増加や『ITはなびらたけ』の研究開発費が前年同期より減少した結果、セグメント損失は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ431百万円減少し、1,036百万円となりました。自己資本比率は71.7%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は233.5%であり、安定性の高い財務体質となっています。

(資産)

総資産合計1,036百万円のうち、現金及び預金が479百万円(構成比46.3%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金195百万円(構成比18.9%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)91百万円(構成比8.8%)、投資有価証券45百万円(構成比4.4%)となっています。

(負債)

負債合計293百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が133百万円(負債及び純資産に対する構成比12.9%)を占めています。

(純資産)

純資産合計743百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△1,434百万円、自己株式△95百万円等となっています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月14日付公表「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	831,304	479,940
受取手形及び売掛金	234,837	195,759
商品及び製品	37,930	39,191
仕掛品	32,875	44,809
原材料及び貯蔵品	8,431	7,208
その他	63,239	50,216
流動資産合計	1,208,619	817,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,930	12,064
機械装置及び運搬具（純額）	910	739
工具、器具及び備品（純額）	26,083	18,290
有形固定資産合計	40,923	31,094
無形固定資産		
ソフトウェア	9,395	13,489
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	10,642	14,737
投資その他の資産		
投資有価証券	81,857	45,329
敷金及び保証金	118,899	124,765
その他	19,186	15,639
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	208,091	173,882
固定資産合計	259,658	219,714
資産合計	1,468,277	1,036,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,609	75,691
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	51,846	33,977
未払法人税等	7,915	8,668
受注損失引当金	3,000	—
その他	68,124	71,082
流動負債合計	383,494	289,418
固定負債		
長期借入金	19,040	—
退職給付に係る負債	2,982	3,753
固定負債合計	22,022	3,753
負債合計	405,516	293,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△1,115,143	△1,434,219
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,062,523	743,447
新株予約権	237	220
純資産合計	1,062,760	743,667
負債純資産合計	1,468,277	1,036,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,395,448	1,338,112
売上原価	942,859	851,265
売上総利益	452,588	486,846
販売費及び一般管理費	611,093	812,336
営業損失(△)	△158,504	△325,489
営業外収益		
受取利息	26	27
受取配当金	679	856
助成金収入	—	1,710
その他	895	170
営業外収益合計	1,600	2,764
営業外費用		
支払利息	1,543	1,016
その他	43	252
営業外費用合計	1,586	1,269
経常損失(△)	△158,489	△323,994
特別利益		
新株予約権戻入益	24	17
投資有価証券売却益	1,610	8,272
違約金収入	60	—
特別利益合計	1,694	8,289
特別損失		
固定資産除売却損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△156,799	△315,704
法人税、住民税及び事業税	3,309	3,370
法人税等合計	3,309	3,370
四半期純損失(△)	△160,108	△319,075
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,108	△319,075

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△160,108	△319,075
四半期包括利益	△160,108	△319,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△160,108	△319,075
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業	投資教育事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,017,153	179,721	195,368	3,205	1,395,448	—	1,395,448
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,250	64	—	1,314	△1,314	—
計	1,017,153	180,971	195,432	3,205	1,396,762	△1,314	1,395,448
セグメント利益又は損失 (△)	226,417	△1,603	△141,594	△26,427	56,791	△215,296	△158,504

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△215,296千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	922,138	191,995	223,977	1,338,112	—	1,338,112
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	322	322	△322	—
計	922,138	191,995	224,300	1,338,434	△322	1,338,112
セグメント利益又は損失 (△)	△2,225	11,959	△116,194	△106,460	△219,029	△325,489

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△219,029千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「投資教育事業」を行っていた子会社の株式会社トレーダクスは2018年7月31日付で株式譲渡したため、これに伴い「投資教育事業」は第1四半期連結会計期間より廃止しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。